

なりすまし詐欺被害認知状況等について

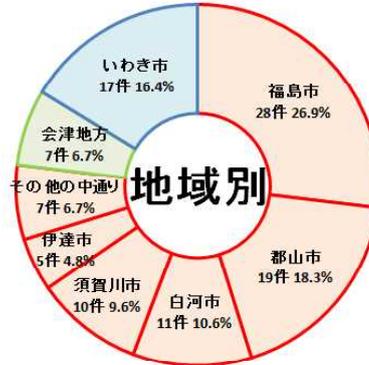
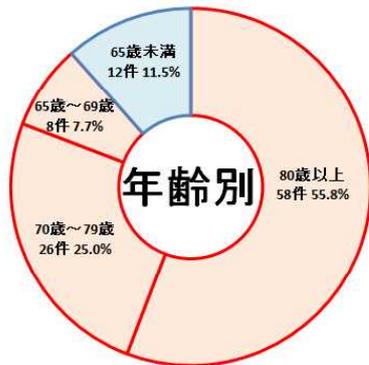
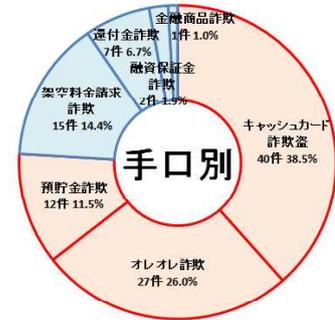
【福島県内 令和4年中】

福島県警察本部
生活安全企画課

被害認知状況

104件、2億4,071万円（前年同期比 - 14件（- 11.9%）、- 2,625万円（- 9.8%））

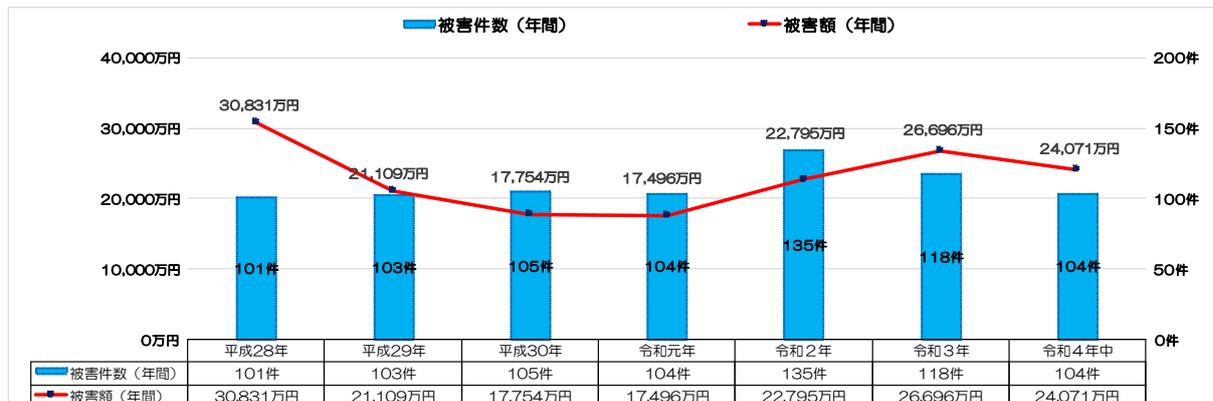
	令和4年中		令和3年中		比較増減	
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
なりすまし詐欺	104	24,071万円	118	26,696万円	-14	-2,625万円
詐欺・恐喝	64	19,810万円	86	21,951万円	-22	-2,141万円
オレオレ詐欺	27	12,272万円	32	12,081万円	-5	+191万円
預貯金詐欺	12	1,306万円	9	800万円	+3	+506万円
架空料金請求詐欺	15	5,295万円	16	5,684万円	-1	-389万円
融資保証金詐欺	2	214万円	3	968万円	-1	-754万円
還付金詐欺	7	662万円	26	2,418万円	-19	-1,756万円
金融商品詐欺	1	61万円			+1	+61万円
キャッシュカード詐欺盗	40	4,261万円	32	4,745万円	+8	-484万円



その他の中通り	内訳	件数	割合
川俣町		1件	0.96%
二本松市		1件	0.96%
本宮市		1件	0.96%
大玉村		1件	0.96%
三春町		1件	0.96%
棚倉町		1件	0.96%
西郷村		1件	0.96%
会津地方 内訳			
会津若松市		3件	2.9%
喜多方市		2件	1.9%
猪苗代町		1件	0.96%
南会津町		1件	0.96%

- 手口別：7割以上（76.0%）が訪問型のキャッシュカード詐欺盗、オレオレ詐欺、預貯金詐欺
還付金詐欺が大幅に減少（前年比 - 19件、- 73.1%）
- 年齢別：全体の9割弱（92件、88.5%）が65歳以上の高齢者
全体の半数以上（58件、55.8%）が80歳以上の高齢者
- 地域別：被害地域の7割以上（76.9%）が中通り地域
郡山市内での被害が減少（前年比 - 22件、- 53.7%）
白河市内での被害が増加（前年比 + 8件、+ 267%）

【年別推移（平成28年～）】



- 令和3年中と比較して認知件数・被害金額ともに減少

未然防止状況

97件、4,539万円（前年同期比 - 12件 (- 11.0%)、+ 2,265万円 (+ 99.6%)）

	令和4年中		令和3年中		比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未然防止	97	4,539万円	109	2,274万円	-12	+2,265万円
金融機関	35	3,669万円	44	1,536万円	-9	+2,133万円
コンビニ	45	299万円	37	375万円	+8	-76万円
その他	17	571万円	28	363万円	-11	+208万円

※ その他=家族・親族、一般人等による声掛け阻止

- 令和3年中と比較して、未然防止金額は増加したものの件数は減少
- コンビニエンスストアによる未然防止件数が増加
- 金融機関、家族等による未然防止件数が減少

予兆情報認知状況

941件（前年同期比 - 160件 (- 14.5%)）

	令和4年中	令和3年中	比較増減
予兆情報	941件	1,101件	-160件
電話	744件	865件	-121件
息子等かたり	211件	203件	+8件
警察官等かたり	208件	340件	-132件
架空料金請求	78件	16件	+62件
還付金	247件	306件	-59件
メル	193件	205件	-12件
はがき・封書	3件	30件	-27件
その他 (融資FAX等)	1件	1件	±0件

- 令和3年中と比較して、予兆情報が減少
- 息子等かたり・架空料金請求の予兆情報が増加
- 警察官をかたる予兆情報が大幅に減少

なりすまし詐欺被害防止へのご協力をお願いします!

令和4年は令和3年と比較し、なりすまし詐欺の認知件数、被害金額ともに減少することができました。

さらなる被害の減少を目指して、金融機関窓口でのチェックリストの活用や携帯通話をしながらATMを操作している人への声掛け、コンビニエンスストア等での電子マネー購入者への声掛けなど、各種水際対策の強化をお願いします。

また、警察官や市役所職員などをかたる不審電話が架かってきたり、インターネットサイトの使用料や携帯電話料金未納などを名目としたSMS(ショートメッセージサービス)が送られてきた際は、警察への情報提供をお願いします。